

被害発生予察表

[illegible]

鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）許可申請書
従事者証交付申請書

令和 年 月 日

大井町長 殿

郵便番号 〒
住 所
氏 名
職 業
生年月日 年 月 日生
電話番号

※複数で捕獲等を実施する場合は、その代表者について記載し、
氏名の右側に「ほか〇名」と人数を記入してください。

次のとおり鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）をしたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律
第9条第2項及び第8項の規定により申請します。

許可証番号	※										
捕獲等しようとする鳥獣又は採取等しようとする鳥類の卵の種類及び数量	種 類 数 量										
目 的											
期 間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで										
区 域	大井町										
方 法											
捕獲等又は採取等の後の処置											
学術研究を目的として、捕獲等又は採取等しようとする場合にあっては、研究の事項及び方法											
鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則第7条第1項第7号に掲げる場所	☐ 鳥獣保護区 ☐ 公道 ☐ 都市公園 ☐ 社寺境内 ☐ 特定猟具使用禁止区域（ ） ☐ 特定猟具使用制限区域（ ） ☐ 休猟区 ☐ 自然公園特別保護区 ☐ 原生自然環境保全地域 ☐ 墓地 ☐ 猟区										
許可申請者（法人にあっては、捕獲等に従事する者）の狩猟免許の種類等											
氏名	住所	職業	生年月日	狩猟免許及び狩猟者登録証				銃砲所持許可証		保険又は共済	
				種類	番号	交付年月日	交付機関名	番号	交付年月日	期間	金額（千円）

（第2面）※有害鳥獣捕獲の場合にのみ記載

生 息 の 状 況	
被 害 時 期	
被 害 対 象 物	
被 害 面 積	
被 害 見 積 額	

備考

- ※印の欄には記入しないで下さい。
- 不要な文字は抹消し、該当する項目の□にレ印を付して下さい。
- 銃器を使用する場合は、「銃砲所持許可証」欄に銃砲所持許可証（麻酔銃の所持許可証を有しないものが麻酔銃を使用する場合は、人命救助等に従事する者届出済証明書）の番号及び交付年月日を、「保険又は共済」欄に鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則（以下「規則」という。）第67条第2項第1号に規定する損害保険契約の保険金額及び被保険期間又は規則の一部を改正する省令（平成23年環境省令第10号）附則第2条第1項に規定する共済事業の給付額及び被共済期間を記載してください。
- 第2面は、有害鳥獣捕獲の場合にのみ記載してください。
- 記入欄が不足する場合は、別に記入した書類を添付してください。

添付書類

- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の採取等しようとする事由を証する書面
- 鳥獣の捕獲等又は鳥類の採取等しようとする場所を明らかにした図面
- 銃器を使用する方法以外の方法を用いて捕獲等する場合は、当該方法を明らかにした図面
- 申請者が法人の場合は従事者名簿

有害鳥獣捕獲等実施者名簿

※番号	氏名	住所	職業	生年月日	狩猟免許及び狩猟者登録				出猟実績 の有無	有害捕獲又は管理捕 獲従事実績の有無	鉄砲所持許可証		保険又は共済	
					種類	番号	交付年月日	交付機関名			番号	交付年月日	期間	金額（千円）

- 備考
1. 「狩猟免許及び狩猟者登録」の「交付年月日」欄は、上段に狩猟者登録の番号等を記入する。また、銃器以外の法定猟具を使用する場合は、狩猟免許、又は有害鳥獣捕獲等に関する研修と読みかえ、研修の場合は「交付年月日」の欄の下段に研修を受けた年月日を「発行機関名」の欄には研修開催期間又は法人等の名称を記入する。

2. 「出猟実績の有無」の欄は、申請日の属する年度又はその前年度において、銃器による狩猟者登録を受け出猟した実績がある場合には「○」を記入する。

3. 「有害捕獲又は管理捕獲従事実績の有無」の欄は、申請日の属する年度又はその前年度において、国・地方公共団体等の法第9条第8項に規定する法人が行う有害鳥獣捕獲若しくは第二種特定鳥獣管理計画に基づく捕獲に従事した実績がある場合には「○」を記入する。

4. ※欄は記入しないこと。

有害鳥獣捕獲等実施計画書

1. 広報計画

2. 実施計画表

実施年月日	捕獲等区域	集合場所及び 開始時間	捕獲等従事者	備 考
年 月 日 曜日			代表者 他 名	

3. 捕獲等実施区域

別添図面のとおり

（図面は、捕獲等実施区域等を明確に表示した図面とする。）

- （注） 1. 実施計画を変更する場合は、あらかじめ駆除許可の申請先に連絡する。
2. 「実施計画表」は、銃器を使用する場合のみ記入する。
3. 銃器以外の駆除方法による場合は、3の添付図面に猟具の設置位置、設置予定数を記入する。

有害鳥獣捕獲等従事者名簿

※番号	氏名	住所	職業	生年月日	狩猟免許及び狩猟者登録				銃砲所持許可証		保険又は共済	
					種類	番号	交付年月日	交付機関名	番号	交付年月日	期間	金額（千円）

備考

1. 「狩猟免許及び狩猟者登録」の「交付年月日」欄は、上段に狩猟者登録の番号等を記入する。また、銃器以外の法定猟具を使用する場合は、狩猟免許、又は有害鳥獣捕獲等に関する研修と読みかえ、研修の場合は「交付年月日」の欄の下段に研修を受けた年月日を「発行機関名」の欄には研修開催期間又は法人等の名称を記入する。

2. ※欄は記入しないこと。

有害鳥獣捕獲等依頼書

令和 年 月 日

様

依頼者
(被害者) 郵便番号
住所
氏名
電話番号

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第9条第1項の規定による（生活環境、農林水産業、生態系）に係る被害の防止のための鳥獣の捕獲等（鳥類の卵の採取等）を次のとおり依頼します。

被依頼者	住 所			
	職 業			
	氏 名			
	電話番号			
捕獲等を依頼した鳥獣の種類				
数 量	羽 (個・頭)	羽 (個・頭)	羽 (個・頭)	羽 (個・頭)
区域又は場所				
期 間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで			
依頼した理由				
被害の状況	鳥獣の生息状況			
	被害時期			
	被害対象物			
	被害面積			
	被害見積額			
特記事項				

備考1 依頼者が法人の場合にあっては、特記事項欄に担当課及び担当者を記入する。
備考2 被依頼者は、共同して捕獲等又は採取等をする場合、代表者の氏名等を記入する。
備考3 被害が予測される場合の依頼にあっては、「被害の状況」欄に過去の被害状況を記入する。

被害状況調査書

調査員	所 属	大井町生活環境課
	氏 名	
調 査 年 月 日		令和 年 月 日
調 査 地		
捕獲等しようとする鳥獣名		
被害の状況		

有害鳥獣捕獲等実績報告書

年 月 日

大井町長 様

申請者 住 所
職 業
氏 名
電話番号

鳥獣捕獲等の許可が満了しましたので、鳥獣捕獲許可証・従事者証を添えて報告します。

[illegible]

第 1 1 号様式

有害鳥獣捕獲等実施状況報告書

年 月 日

県西地域県政総合センター一所长 様

大井町長

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律第9条第1項の規定に基づく鳥獣捕獲等許可の実施状況を次のとおり報告します。

[illegible]